



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.9

令和3年5月10日

文責：校長 伊藤孝行

5月7日福島県内堀知事からのメッセージ!

5月7日(金)に福島県内堀知事から、福島県民に向けて新型コロナウイルス感染防止に関するメッセージが出されました。概要は以下のとおりであります。

- ① 福島県全域について、「自分自身と大切な人の命を守るための5月」をスローガンとして掲げ、5月8日から5月31日まで、感染拡大防止のための「緊急特別対策」を実施します。

＊ 感染拡大を防ぐために、感染拡大地域はもちろんのこと、県境をまたぐ不要不急の往来を控えていただくようお願いします。

＊ 飲食時の感染リスクを抑えるため、飲食は、感染防止対策を徹底した上で、少人数、短時間、いつも一緒にいる方とお願いします。

- ② 小・中学校・高等学校においては、感染リスクの高い学習活動や宿泊を伴う学校行事を控えるなど、感染防止対策の徹底をお願いします。

今後の教育活動の進め方について

県知事メッセージを受け、福島県・郡山市教育委員会より今後の教育活動について指示がありましたので、変更または時期をずらす教育活動についてお知らせいたします。

- ① 家庭科における調理実習など児童が近距離で活動する学習。
- ② 音楽における室内で児童同士が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカの演奏。
- ③ 体育における児童が密集する運動や近距離で組み合う運動。
- ④ 児童同士が近距離で大きな声で活動する学習。



今回、制限がかかった活動は、子どもたちが楽しみにしているものです。状況を考慮し感染防止に力を注ぎ、通常の学習が進められるよう頑張ってまいりますのでご理解とご協力をお願いします。

6年生の修学旅行の時期の変更について

福島県は、感染者が急増する会津若松市を対象にしたまん延防止等重点措置適用に向け、6日に国との協議を始めました。

これを受け、6月11日(金)に予定していた6年生の会津若松市方面の修学旅行は、子どもたちの安全を第一に考え、延期する方向で業者や関係機関と調整に入りました。詳細が決まりましたら改めてお知らせいたします。

子どもたちは「がまん」をしています。

5連休の過ごし方を子どもたちに尋ねたところ、一番多かったのが「近くの公園で遊んだ」次いで「お買い物」でした。



その中で、低学年の子どもから「ステイホームしていました」と教えてもらい少し悲しい気持ちになりました。

自粛生活にがまんできずに街中を出歩くおとなに、小さな子どもが一生懸命「ステイホーム」していることを知ってほしいと思います。

みんなで楽しめる短い詩を紹介します。

- カエルの詩人、草野新平さん
題名「冬眠」 「●」
- フランス人のジュール・ルナールさん
題名「へび」 長すぎる
- 童謡「ぞうさん」の まど みちおさん
題名「ケムシ」 さんぱつは くらい

うえに紹介した三つの詩は、短いことで有名なものです。

文?が短いだけに読み手が想像する部分が多く、楽しめるものです。草野新平さんの「冬眠」の「●」は何て読めるのでしょうか。面白く読めた人は教えてください、待ってます。